

平成19年（2007）3月2日～6日

平成18年度（2006）

第4回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表

平成 18 年度 (2006) 第 4 回出雲市議会 (定例会) 一般質問通告一覧表 目次

3月2日(金) 10:00 開会			3月5日(月) 10:00 開会			3月6日(火) 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	板倉 明 弘	1	1	杉 谷 寿 之	8	1	山 根 貞 守	14~16
2	多々納 剛 人	2~5	2	遠 藤 力 一	9~10	2	長 廻 利 行	16~17
3	米 山 広 志	6	3	曾 田 盛 雄	11~12	3	石 川 寿 樹	17~18
4	萬 代 弘 美	6~7	4	福 代 秀 洋	13~14	4	松 村 豪 人	19
5	原 隆 利	7~8						

# 平成18年度（2006）

## 第4回出雲市議会（定例会）一般質問通告

質問者	19 板倉明弘		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 公共工事の入札制度について	1. 平成17年度、平成18年度（現在まで）の落札率の状況と一般競争入札実施件数を伺う。 2. 入南29号線道路改良工事入札後に談合情報があった事を公表しなかった理由と、今後の談合情報に対する指針を伺う。 3. 新年度から試行される入札制度を伺う。 4. 電子入札実施時期及び総合評価方式の拡大の見通しを伺う。 5. 新庁舎建設工事に関する発注方法及び入札方式の基本的方針を伺う。	市長	
2. 中国技術研修生受入事業について	1. この事業を実施した経過と成果を伺う。 2. 平成5年度から平成18年度までの各年度ごとの受入れ人数と事業費及びこれまでの事業総額を伺う。 3. 県が実施する「外国人研修生受入れモデル事業」は、平成12年度に中止されている。今後の事業実施方針を伺う。	市長	

質 問 者	7 多々納 剛 人		
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 出雲市のがん対策について	<p>今定例会初日に、議員提案による「出雲市がん撲滅対策推進条例」が可決し、成立しました。今後、市においては、本条例を尊重し、がん対策を主要施策に掲げ、積極的な取り組みを期するものである。そこで、次の点についてお伺いしたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本条例に対する市長の所感と、今後のがん対策推進に向けた決意並びに展望を伺う。</li> <li>2. 本条例中にもあるように、地域のがん医療水準を向上させるためには、「がん専門医の養成」と「がん予防対策の充実」を図ることが重要である。そこで来年度、市が取り組むがん対策として、これらに寄与する事業が盛り込まれているか。あればその内容と予算額について具体的に伺いたい。</li> <li>3. がん予防対策として、「がんの早期発見・早期治療」が重要な要素になってくるが、これを促進するためには、市民のがん検診受診率の向上を図ることが必要である。市としてこれを推進するためにどのような措置を講ずるのか伺う。</li> <li>4. 本条例中にもあるように、がん対策を進める上で、国・県との連携を図ることは重要であると考えている。そこで、島根県が同趣旨の「がん対策推進条例」を制定し、来年度「がん対</li> </ol>	市 長	

	策推進計画」を策定するが、県との連携はどのように考えているか。あれば具体的な方策について伺う。		
2. 自衛隊出雲駐屯地人員削減について	<p>1. 市長から昨年、自衛隊幹部より出雲駐屯地減員計画激減緩和措置の連絡を受けたとの説明があったが、その際、連絡にはどのように対応されたのか、人員削減に対しこれまでの出雲駐屯地の機能拡充へ強い要望はあるものの、地元に対し一応の配慮がなされた事などから一定の理解を示され了解されたという事なのか伺いたい。</p> <p>2. 激減緩和措置では定員削減率を7割程度の圧縮とし、3～4年かけて削減するとの説明でしたが、減員対象110名の7割なら約85名程度となりますが、減員の具体的な削減要領は説明があったのか伺いたい。</p> <p>3. 出雲市にとって人員削減は減収などの影響や自衛隊出雲駐屯地を活用した町づくりへの潜在的効果などに影響が出ると考えるが、どのように受け止めておられるのか、また迅速な災害対応などへの影響も懸念されるところであるが、その懸念を当局に対しお示しになっているのか、またそれに対する回答が当局からあったのか伺う。</p> <p>4. 防衛計画大綱という大きな枠組みのなかで、自衛隊出雲駐屯地の機能拡充強化へ向けた、これまでの要望は大変悩ましい課題になったと思われるが、どのように受け止め、またこれからの対応をどのようにして</p>	市長	

	いかれる考えなのか伺う。		
3. 次世代を担う児童・生徒育成に対する地域の関わり方について	<p>近年少子化の問題や、子育てニーズの多様化などによって子育て家庭の児童生徒を取り巻く環境は大きく変化をしています。学校教育の視点で見れば教育現場への対応策、児童福祉の視点で見れば児童の社会性の醸成や安心安全の確保など課題は多く、そうした環境への対応として「地域」の関わりが近年重要視されている。そこで次の点について伺いたい。</p> <p>1. 行政が行う事業に比例して地域組織や地域事業が多く生まれている現状は、結果的に組織・事業間の連携不足や非効率化を生んでしまうのではないかと懸念されるが所感を伺う。</p> <p>2. 「地域」がという掛け声はいいが、地域にあった適切な支援を引き出すためには、地域ニーズの掌握はもとより、ボランティアなど地域の人材の発掘、また様々な事業をコーディネートできる人材の育成などが求められている、そのためには地域が次世代育成環境を一元的に受け止められる地域組織の必要性を感じている。地域の自発的な取り組みをサポートし対応能力向上を図るため、行政がどうかかわりをもつべきか、またその責任について伺う。</p>	市長	
4. 一畑電車踏切改良について	<p>現在一畑電車沿線にはボトルネック型踏切がいくつか存在し以前から改良要望があると聞いている、そこで次の点についてお伺いしたい。</p>	市長	

	<p>1. 沿線、特に出雲市管内にはボトルネック型の踏切がいくつ存在するのか、また現在までの改良要望や改良箇所はどれだけあるのか具体的に伺いたい。</p> <p>2. ボトルネック型踏切は車輛の道路通行や歩行者の安全にも支障をきたす恐れがある他、発展著しい出雲市のまちづくりにも影響が出ると考える。早急な改良が求められるが、道路の拡幅にあわせ同時に改良できないのは、鉄道運行事業法などによって規制があるのか、現行法の解釈と、また運行事業者と道路管理者との協議はなされているのか、具体的な説明を伺う。</p>		
<p>5. 自治集会所設置補助について</p>	<p>平成19年度市長の施政方針にも引き続き町内会・自治会加入を推進するなど自治振興に積極的に取り組まれる事と思われるが、その一環として自治集会所設置補助事業がある。それについて次の点について伺う。</p> <p>1. 平成18年度の交付実態を見ると、合併による要望件数の増大からか予算額も急増しているが、来年度の予算案では予算額が半減している、要望の実情など半減した理由について伺いたい。</p> <p>2. 補助要件では常時利用する戸数が15戸以上とあるが更なる要件緩和は考えられないか伺いたい。</p> <p>3. ふるさと広場設置支援事業と一体的に事業を進め、子どもの居場所として提供するなどの新たな取り組みは出来ないのか伺いたい。</p>	<p>地域振興部長</p>	

質 問 者	22 米 山 広 志
-------	------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 出雲市建設発生土改良センター	1. なぜ、改良土の再利用が促進されないか 2. 発生土利用基準を検討されているか 3. 県内における出雲市のリサイクル率	市 長	
2. 教育施設のケーブルテレビの設置	1. 幼、小、中のケーブルテレビの設置状況 2. 平成15年9月議会の答弁以降の設置	市 長	
3. 青少年活動拠点施設 先行取得事業	1. 拠点施設が予定されている施設の所在地と面積、どこが取得するか手順をわかりやすく 2. 施設の名称、事業目的と内容 3. 平成20年度からの事業予定 4. 施設の管理団体を伺う	市 長	

質 問 者	20 萬 代 弘 美
-------	------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 安心して子育てできる実効ある施策の実施について	1. 子どもの医療費助成制度の対象年齢の拡大、窓口負担の撤廃など施策の拡充を 2. 放課後児童クラブの増設と「遊びと生活の場」にふさわしい環境の整備をすることについて（設置基準の策定、指導員の処遇改善など）	市 長	



2. 市民の立場に立った親切な生活保護行政について	<p>貧困と格差が広がる中、生活保護世帯が急増している。しかし、国においては高齢者や母子家庭への加算を廃止したり、申請を抑えるような指導が行われている。こうしたなかで、北九州での餓死事件や申請を断られた人が自殺をするなど痛ましい事件がおきている。出雲市での状況はどうか。(保護世帯数の状況、相談・申請・保護の状況) 窓口にこられたすべての相談者に申請用紙を渡すこと。さらに相談、支援体制の充実をはかり、生活苦に対するセーフティネットとしての保護と、自立を支援する生活保護行政の拡充を求める。</p>	市長	
3. 7月豪雨災害被災者への支援の拡大について	<p>7月豪雨災害の被災者に対し、利子補給、見舞金2万円では十分とはいえない。これまでの議会答弁をふまえて、どのような検討をされてきたのか。被災者支援の拡充を求める。</p>	市長	

質問者	26 原 隆 利		
質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 出雲市立総合医療センターについて	<p>1. センターへの改革案について 2. センターの運営について 3. センターの今後の役割について 4. 名称について</p>	市長	
2. 斐伊川の潜水橋及び河川管理について	<p>1. 潜水橋の管理者は誰か 2. 潜水橋の修理と今後の対策</p>	市長	

	3. 堤外地の民地の管理について（成長した樹木の除去等）		
3. いわゆる「箱物」の定義について	1. 「箱物」の定義は 2. 出雲市にいわゆる「箱物」はあるのか	市 長	

質 問 者	33 杉 谷 寿 之
-------	------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 水産物流通拠点施設整備について	1. 水産交流プラザ（仮称）計画の全容について問う。 2. その運営、管理の方法について 3. 設備投資額と財源内訳。経営収益、支出の内容について。	市 長	
2. 有害鳥獣被害対策について	1. シカ被害対策の現在までの経緯を問う。 2. 徹底したシカ駆除の方法について。	市 長	
3. マリーナ、フィッシャリーナの設置について	不法係留、放置レジャーボートのその後の対策について。	市 長	

質問者	3 遠藤 力一
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 指定管理者制度導入 その後の問題について	1. 指定管理者制度導入の目的は達成されたか 2. 指定管理者制度に移行したのは何施設か 3. 制度導入後1年経過しての評価・検証は、市民サービスにおいて問題点はないか 4. 指定管理者団体の経営状況はどうか、赤字施設の今後の展望は 5. 今後、経営状況などによって職員を派遣される考えがあるか、あるとすれば具体的にどのような施設になるか 6. 職員派遣がされた場合、職員定数内で行われるものか、それとも定数外とカウントされるのか	市長	
2. 電子自治体への取り組みと目標	1. 出雲市のインターネット普及率は、一般家庭と企業に分けて 2. 電子自治体構築の目的はなにか、達成度は、今後の計画と問題点はなにか 3. コンピューターウイルス・不正アクセス・フィッシング詐欺などが増加しているが、情報セキュリティの対策はどのようにとられているか 4. 住基カードの普及と応用範囲の拡大はどのように考えているか	市長	
3. 事業仕分けの実施を望む	事業仕分けは、自治体職員と住民や外部参加者（他自治体の有志職員、経営者、NPO等）が議論をしながら、その自治体の一つ一	市長	

	<p>つの仕事について、市民の目線で必要性をチェックする仕組みであり、すべての事業を対象に ①そもそも必要なかどうか ②必要だとして行政と民間のどちらがやるべきか ③行政なら、国や県、市町村のいずれがやるのか について、個々具体的に評価していくものである。</p> <p>出雲市においても、19年度に「事業仕分け」を導入し、さらなる行財政改革に取り組むべきだと思いが見解を伺う。</p>		
<p>4. 大社町の飛び砂被害と里浜づくり</p>	<p>大社町仮の宮・永徳寺坂・上大土地などの地域では、「飛び砂」により深刻な影響が出ている。</p> <p>「飛び砂」の防止などの目的で大社町杵築西に2004年4月「きづき海浜公園」が造られた。しかし、稲佐の浜から堀川にかけてのこれ以外の浜では防止ができていない。県への重点要望のひとつとなっているが、現在の状況と今後の見込みを伺う。</p>	<p>産業振興 部長</p>	

質問者	10 曾田盛雄		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 教育行政改革について	<p>1. 「平成19年度から出雲教育政策審議会（仮称）」を常置する考えとあるが、基本的な考え方、重点的な活動内容等、具体的にどのように取り組まれるのか伺う。</p> <p>2. 現在の子供達には、学力・体力、共に以前よりも低下していると言われている。向上対策は考えておられるのか伺う。</p> <p>3. 小、中学校は2002年から、週5日制になり、所謂ゆとり教育が始まったが、その後いろいろ問題が起きた。特に学力低下は深刻で、元に戻してはという指摘もある。全国に先んじて、土曜日も半日学校に通わせて基礎学力の向上、例えば歴史の勉強、数学の基礎のそろばん等の学習を取り入れたら学力の向上に繋がるのではと思うが、考えを伺う。</p> <p>4. 通学時の服装についても意識改革の面から、私服で通学させるのではなく、統一した制服にしたらと云う声もある。その際に於いても公費で負担したらと思うが、市長の考えはどうか、伺う。</p>	市長	
2. 「21世紀産業都市の創造」について	<p>1. 東部工業団地の利用状況について</p> <p>① 団地内でライト工業が進められている「出雲バイオマスエネルギープラント」は、いつから本格的に稼動するのか伺う。</p>	市長	

	<p>② 水素社会構築への取り組みとして、水素エネルギーを利用したエンジンの研究施設の進出と、関連企業の誘致や市内企業の事業参入を促進します。とあるが、具体的に目星がついているのか伺う。</p> <p>③ 東部工業団地の残りの区画について、その後の企業誘致の交渉は進んでいるのか伺う。</p>		
<p>3. 公共施設、市道の改修について</p>	<p>1. 道路標識・カーブミラー・掲示板・市が設置した防犯灯の数そして、それぞれの耐用年数等、老朽化は把握できているのか伺う。</p> <p>2. 市道の補修について、舗装の修繕工事は、原則として行政側が行うべきと考えるが、道路の種類、道路幅、場所、地域によって対応に格差があるのか伺う。</p> <p>3. 本年は、暖冬のため大きな積雪もなかったが、除雪対策の計上予算、使われた金額、対策費の残りはどのように使われるのか伺う。</p>	<p>市 長</p>	

質 問 者	1 1 福 代 秀 洋
-------	-------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 北山のシカ対策について	1. シカの生息頭数について 弥山山地、湖北山地の生息頭数の推移は 2. 捕獲頭数について 18年度の捕獲計画頭数と実際の捕獲頭数は（弥山山地、湖北山地） 3. 19年度の捕獲頭数について 19年度の捕獲計画頭数（弥山山地、湖北山地） 4. 北山の森林環境整備について 19年度の北山の森林環境整備に関して具体的な事業は	市 長	
2. 自治協会・自治会への加入促進	1. 自治協会・自治会の果たす役割 自治協会・自治会の果たす役割。市にとってのメリット、住民にとってのメリット。 2. 18年度の現状と取り組み 現在の加入状況。18年度の取り組みと成果。 3. 19年度の取り組み 19年度の具体的な取り組みと目標	市 長	
3. 水素社会プロジェクト	1. 目標 このプロジェクトは、出雲市に何をもちたらずのか。どのような成果をめざしているのか。	市 長	

	2. 年次計画 具体的な達成目標と年次計画		
4. 高度情報通信社会の実現	1. 住民基本台帳カード 更なる高度化、利便性の向上に向けた施策は 2. ホームページ 機能・内容の充実とは具体的に何か	市 長	

質 問 者		4 山 根 貞 守	
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 出雲市コミュニティセンター運営事業について	1. コミュニティセンターの職員の任用期間を、1年間としなければならない訳を伺う。 2. 当初コミュニティセンター職員は、5名体制で対応するとの事であったが、現実には4名体制で年間70日間の臨時職員で対応されているが、これに対して現場での対応に問題が無かったのか伺う。 3. 時間外勤務（残業）を行っても、現実には時間外手当は支給されず平日に振替休日に対応されているのが実態である、しかしこの振替休日も月を越えての対応が出来ないため、月後半での時間外勤務をしても、振替休日の対応も出来ないのが現状である。	市 長	



	<p>こうした現状を承知されているのか、また承知されているのであれば、今後どの様に対応されるのか伺う。</p>		
2. 防災対策について	<p>1. 平成18年3月31日付で「出雲市災害ボランティアマニュアル」が策定されていますが、昨年の7月豪雨災害時に、マニュアルに基づき対応がなされたのか、またマニュアル通りに行かなかった部分があったとすれば、どの部分をどう改正されたのか伺う。</p> <p>2. それぞれの地区に避難場所が指定をされていますが、元来避難場所は公共建物か地区集会所等が大半を占めていると思われまます。必ずしも安全面を重視した避難場所とは思えない所も多く見受けられます。山裾、河川に隣接した場所等、二次災害が起きてもおかしくない場所にある建物が、避難場所となっているケースも見受けられます。又、危険な箇所を通らなければ行けない場所にある避難所等があります。こうした避難場所の点検や変更はいつ誰が実施されますか伺う。</p> <p>3. 新年度から、要支援者ネットワーク事業を立ち上げ、これの基礎資料とするため、「要支援者名簿」を平成18年12月までに取りまとめ作成すると説明を受けましたが、名簿が作成されたのであれば「独居世帯」「高齢者世帯」「重度障害者」の方がそれぞれ何名になったのか伺う。</p> <p>4. 本年4月から「地区防災組織」を市内全</p>	市長	

	<p>域に立ち上げ、自治組織として、自治会長を代表として、「災害調査員」「避難誘導員」「厚生員」で組織し、特に厚生員としては、応急救護班・応急食糧班・生活必需品班・防疫に関する班を自治会の人で編制をし、万一の災害時に対応する事となっています。自治会の方に、それぞれの役割を御願いをして組織を作る事は可能ですが、素人の方たちで万一の時に本当に機能するのか大変心配であります。</p> <p>組織編制後には、それぞれの自治組織に対してどのような指導又は実地訓練をされるのか伺う。</p>		
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

質問者	30 長 廻 利 行		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
21世紀出雲神話観光 大国の創造について	<p>1. 出雲阿國座については、長年の思いが結集し、合併によっていよいよ現実のものとなり、内外から大いに期待されている。出雲神話観光大国の創造を実現するためにも、この事業は是非とも成功させなければならない。そこで阿國座の活用と運営において、今後、いかに市民を巻き込んでいくかが重要であると考えているがいかがか。</p>	市長	

	<p>2. 3月10日に開館する県立古代出雲歴史博物館は出雲阿國座とともに、全国に情報発信できる出雲観光神話大国の中核拠点として期待されているが、この博物館に対する市の関わりや支援については、どのように考えておられるか。</p>		
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

質問者	9 石川 寿 樹
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 入札制度の改革	<p>1. 出雲市の入札制度はどのような仕組みになっているか。特に、一般競争入札と指名競争入札の割合（件数、金額）、一般競争入札の対象工事や参加資格、指名競争入札の発注金額に応じたランクや地区（地域）割りなどについて伺う。</p> <p>2. 合併後、平成17年度および18年度（12月末）の落札率はどのようにになっているのか。公共工事の落札率が仮に10パーセント下がれば、どれだけの支出が節約できるか。</p> <p>3. 施政方針の中で「新年度から郵便方式による事後審査型の一般競争入札制度を導入する」とあるが、工事金額をいくら以上に設定するのか。また、現在の制度では地区（地域）要件が細かく設定されているが、これをどうするのか。</p>	市長	

	<p>透明性と公平性を確保するためにも、予定価格250万円以上のすべての公共工事を一般競争入札の対象とし、かつ地区（地域）要件を原則として撤廃する考えはないか。</p> <p>4. 本市の入札制度検討委員会は、助役ほかいずれも職員が構成メンバーとなっている。より市民の声を反映し公正を期すためにも、市民の代表や外部の有識者を加えた組織に変更する考えはないか。</p> <p>5. 予定価格を含む入札結果情報は、電磁的情報の形でも情報公開し、公正な競争の有無を市民が容易に検証できるようにする考えはないか。</p>		
<p>2. 低所得世帯に対する児童クラブ利用料の全額減免と発達障害児に対する委託料の加算について</p>	<p>1. 児童クラブを利用する場合、月額7,000円の利用料とおやつ代(3,000円程度)を負担しなければならないが、市町村民税の所得割額がない世帯など低所得世帯については、月額7,000円の利用料を全額免除してはどうか。</p> <p>2. 児童クラブが学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、高機能自閉症など発達障害の児童を受け入れた場合、身体障害のある児童を受け入れた場合と同様の委託料の加算はあるのか。あるとすれば、加算額(年間)はいくらか。</p> <p>3. 児童クラブが複数の障害児童を受け入れた場合、委託料の加算はどのように算定されるのか。</p>	<p>市長</p>	

質問者	2 松村 豪人		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
沿岸地域の漁業に影響を及ぼす「磯焼け」について早急な対策を	<p>磯焼けとは、沿岸の岩礁域において、アラメ、テングサ等の有用海藻が急激に枯れてしまう現象である。</p> <p>この結果、海藻はもとより、海藻を餌とするアワビやサザエ等の貝類が減少し、採貝業に影響を及ぼす。本市の沿岸部においても、この磯焼けが確認されている地域があり、被害が拡大する前に早急な対策を望むものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 磯焼けについての現状認識如何。</li> <li>2. 原因は何と考えられるか。</li> <li>3. 速やかに実態調査をすべき。あわせて、有効な対策を検討願いたい。</li> <li>4. 沿岸の一部地域においては、平成8年頃から磯焼けが確認されている。近年の採貝・採藻業の影響はどうか。</li> <li>5. 磯焼けについては、原因が特定できなくても対症療法によりある程度対応できると考える。</li> </ol> <p>地元の独自調査により磯焼けが確認されている箇所については、すべての海藻が枯死する前に、コンクリートブロックによる藻場の造成、回復等の対策を速やかに実施すべき。執行部の見解如何。</p>	市長	